



# Corporate Profile



SANWA COMSYS Engineering Corporation





コムシスグループの事業概要

NTT設備事業	NCC設備事業	ITソリューション事業	社会システム関連事業等
NTTグループ向けに有線・無線ネットワーク構築における電気通信設備工事を行っています。また近年では、設備運營業務(保守・故障修理業務)も一部のエリアで受託しています。	NTTグループ以外の電気通信事業者向けに有線・無線ネットワーク構築における電気通信設備工事、CATV工事、付帯設備工事を行っています。 ※NCC:New Common Carrierの略。	蓄積したノウハウと最先端のネットワーク技術を融合させて、企画提案から保守サービスまで、お客様の業務に最適なIT分野のトータルソリューションサービスを提供しています。	通信土木・一般土木工事および電気設備の設計・施工をはじめ、ビル・倉庫などの建築、さらに防災設備、太陽光発電システム・都市インフラビジネスなどの環境工コ関連事業を行っています。

主な担当事業	NTT設備事業	NCC設備事業	ITソリューション事業	社会システム関連事業等
日本コムシスグループ	●		●	●
サンコムグループ		●	●	●
TOSYSグループ	●		●	●
つうけんグループ	●		●	●
NDSグループ	●	●	●	●
SYSKENグループ	●	●	●	●
北陸電話工事グループ	●	●	●	●
COMJOグループ			●	
コムシスシェアードサービス(CSS)				●

※CSSは主にグループの事務共通業務(総務・人事・財務・給与・社会保険等)および派遣事業などを行っています。

サンコムグループ

2020年3月期

社名	所在地	資本金	売上高	主な事業内容
三和電子株式会社	東京都千代田区	90百万円	4,151百万円	電気通信設備工事事業、電子機器の設計
株式会社エス・イー・シー・ハイテック	東京都品川区	30百万円	3,631百万円	ハードウェア・ソフトウェアの開発・設計
サンコムテクノロジー株式会社	東京都北区	30百万円	3,788百万円	電気通信設備工事事業

トップメッセージ

当社は、1947年に設立して以来、半世紀以上にわたり情報通信・社会インフラの構築に携わってまいりました。2005年からは、コムシスホールディングス唯一のNCC事業と海外事業の組織を構え、その役割を担っています。

情報通信分野においては、スマートフォンやタブレット端末の多様化・高機能化が進み、モバイルネットワークのさらなる高度化が進められています。また近年激甚化する自然災害に備えた防災・減災対策が求められています。これらのニーズに対応するため、サンコムのコア事業である通信インフラ事業に注力するとともに、ITソリューション事業、電気設備や太陽光・風力発電などをはじめとする社会システム関連事業、そして海外事業など、さまざまな事業領域へ取り組み、社会に貢献し続けていく所存です。



サンワコムシスエンジニアリング株式会社

代表取締役社長 坂本 繁実

サンコムはこれからも、『安全』『品質』を最重要課題とし、長年培ってきたノウハウと高度な技術力で、変化を恐れず果敢にチャレンジし、お客様に選ばれ続ける企業を目指します。

経営理念

私たちは、グループ一体となり、外部の様々なプレイヤーとも強力な協業・連携を図りつつ経営理念を実現します

- ▶ 「時代をになう多様なインフラ建設」でお客様に選ばれ続ける企業を創ります
- ▶ 「豊かな生活を支える社会基盤づくり」で国と地域に貢献します
- ▶ たゆまない改革を続けさらなる企業価値の向上を目指します

# 情報通信エンジニアリング事業

INFORMATION AND COMMUNICATIONS ENGINEERING BUSINESS

## 快適な通信サービスの提供と 災害時の早期復旧に迅速に対応します

通信業界を取り巻く環境は5Gなどの登場により大きな変化が予想されます。このような状況下でもサンコムは、NCC分野のリーディングカンパニーとして「モバイルエンジニアリング」「アクセスエンジニアリング」「ネットワークエンジニアリング」の長年培ってきた技術力で安全・高品質・短納期を守り、全国の通信サービス網を支え続けます。また、災害時の通信インフラ復旧にもいち早く対応します。



- 主な事業領域**
- 携帯電話基地局建設工事・保守
  - マイクロ回線装置の設備工事  
およびマイクロ無線用各種アンテナ設置工事
  - 衛星通信用アンテナおよび無線装置設置工事
  - 鉄塔建設工事
  - 登録検査等業務

#### 事業内容・今後の展望

通信キャリアなどのお客様に対して、携帯電話基地局建設の折衝・設計・施工から、24時間365日体制の保守に至るまで一貫したサービスを提供しています。

NCC分野を主にアナログ世代(1G)から現在まで、時代の変化に対応しながら、安心・最高品質のサービスを提供できるネットワーク環境を持ち続けることで、常に高いシェア率を継続し、多くのお客様に選ばれ続けてきました。

新たな通信技術(5G・IoT・M2M)の到来により、これまでにない大きな変革の波を迎えようとしています。サンコムでは長年にわたり培ってきた技術力やノウハウを生かし、高品質なインフラ整備の実現に向け、より良いモバイルネットワークを提供していきます。

#### 実績

NCC分野のリーディングカンパニーとして、全国規模の基地局建設工事を受注する中で、「安全、高品質、短納期」という3本柱を軸として、お客様の多彩なニーズにお応えすることにより、高い評価をいただいています。

工事においては、サンコム独自のモバイルオペレーションシステム(SunMOS)によって、施工中の工事進捗状況をタイムリーに管理し、コミュニケーションツール(SunMOSカメラ)を活用して遠方からも現場に指示を出すことで、より効率的な現場対応が可能となっています。

近年激しさを増す自然災害の現場においても、被災地の生命線である通信サービス確保のため、迅速な対応により携帯電話基地局の早期復旧に貢献しています。





主な事業領域

- 光ケーブル敷設工事
- CATV関連工事
- 宅内LAN工事（無線LAN/PLC設定）
- FTTHサービス工事
- 各種伝送無線工事

事業内容・今後の展望

電柱や地中管路を用いて光ファイバケーブルの敷設を行う「通信線路工事」、通信の安全性・信頼性の向上を目的とした無電柱化工事を行う「通信土木工事」、高速道路の安全確保のための「通信設備工事」の3本柱でお客様にサービスを提供し、各拠点を通信網で結ぶサポートをしています。

サンコムでは、重要な地域に工事資材と作業員を配置したテクノステーション（以下：TS）を設置し、お客様のニーズに合わせて迅速に作業ができる体制を整えています。

今後、複数の領域にまたがった技術とノウハウを持ったハイブリッドな技術者の育成を強化することで、多様化していく次世代通信サービスに対応していきます。

実績

架空や地中で光ファイバケーブルをつなぐ大掛かりなものから、電柱から宅内に光ファイバケーブルを引き込むといったエンドユーザーの生活に近いものまで、多様な工事を行っています。

近年では、サンコム内他部署とのジョイントオペレーションによって、高速道路での情報掲示板やETCの装置、安全確保のためのCCTVに関するケーブル設置を行ったほか、電力会社のスマートメーター設置工事に通信工事会社として初参入するなど、次世代に向けて事業領域を拡大しています。

また、自然災害時には、電力会社やケーブルテレビ局、通信事業者からの緊急依頼に対応するため、被災地に近いTSに緊急対策本部をいち早く設置し、迅速に復旧作業に当たっています。



主な事業領域

- ノード系設備工事
- IPネットワーク通信設備構築
- キャリア系建設構築
- 通信ネットワーク保守・運用監視サービス
- 伝送設備工事等
- 企業システムネットワーク構築
- データセンター設備構築

事業内容・今後の展望

通信キャリアやケーブルテレビなどの通信事業者を主な顧客とし、ネットワークセンターやデータセンターを中心に、通信・電力設備工事を設計から施工まで一括して受注しています。

また、首都圏以外のエリアでも、各支店やコムシスグループと連携した施工体制を確立しているため、新規キャリアの参入などに際しては、高度な施工技術を活用した大規模工事を、全国一元管理を行いながら展開しています。

ネットワークデータ技術を使った自動運転や遠隔医療など、人々の生活の中でビッグデータの運用が活用される時代に入中、サンコムでは、通信・電力設備工事全般において安全で高品質な施工を実施し、快適なネットワーク環境を提供していきます。

実績

重要なライフラインを担うネットワークセンターやデータセンターに設置されているコア系（ルータ、サーバ、スイッチなど）設備、伝送系設備や直流・交流さまざまな電源設備、蓄電池（無停電）設備など、多種多様な通信事業者の通信・電力設備工事を数多く施工してきました。

保守運用面においても、お客様の立場に立った安全・高品質・低コストな提案を行い、通信事業者はもとより各製品を提供しているベンダーからも高い評価をいただいています。

また、全国規模のプロジェクトではITシステム部門と連携することにより、設計・施工・試験・保守までワンストップで行うことで、最高品質のサービスを全国均一に展開しています。



最先端のシステムをワンストップで構築し  
お客様の課題を解決します

ITソリューション事業では、一般企業や官公庁のネットワークシステムを守るため、高度なセキュリティネットワークの構築を、提案から設計・施工・保守までワンストップで行います。これまで積み上げてきた工事実績とノウハウを生かし、お客様が抱えている課題に最適なソリューションでお応えします。



#### 主な事業領域

- NI系ソリューション
- SI系ソリューション
- ITファシリティソリューション
- 伝送無線工事
- 保守・運用ソリューション

#### 事業内容・今後の展望

通信を強みとしたネットワークシステムの提案からNI/SI設計・施工・保守までをワンストップで行っています。

現在取引のある約400社の企業に対して、オフィスやデータセンターの光ケーブル・LANケーブル配線やWi-Fi環境構築から、全国展開でのネットワーク構築まで、お客様の要望に沿った企業内インフラを提供しています。

また、手配から管理・サポートまでを本社(東京)のシステムサポートセンターで一括管理することで、全国均一の品質を保ちながら、迅速な対応を可能としています。

今後は、工場内の在庫管理システムにおけるIoT制御やローカル5Gに対応した端末やサーバの構築などにも注力し、お客様の課題解決のサポートをしていきます。

#### 実績

一般企業や官公庁のWi-Fi環境や空調・電話などオフィスのインフラ整備から、全国規模のPOSシステムや金融システムのネットワーク構築まで幅広く事業を展開しています。通信機器の販売代理店としての実績も多数あり、これまでの経験を基に、お客様が抱えている課題に対し、最適なソリューションでお応えしています。

近年、一般企業でもセキュリティシステムの導入が増えているため、顔認証や指紋認証などの高度なセキュリティネットワークの構築も行っています。

また、各通信キャリアが提供しているルータの不良箇所を調べるエイジング試験の実績も数多くあり、常にお客様に安全で高品質な通信機器をお届けできるように努めています。



# 社会システム関連事業

SOCIAL SYSTEM-RELATED BUSINESS

## 幅広い事業領域で豊かな社会を実現し 人々の生活を支えます

サンコムの中でも最も幅広い事業領域を担う社会システム関連事業は、公共施設や空港などの電気・通信設備の新設・設計を行う「電設エンジニアリング」から、太陽光発電や風力発電の提案・開発・メンテナンスまでを行う「環境部門」まで多岐にわたります。どの部門も私たちの暮らしに直結しており、豊かな生活を支えています。



- 主な事業領域**
- 一般電気設備工事
  - 電気通信設備工事
  - 建築付帯設備工事
  - 交通インフラ関連工事
  - 空港インフラ関連工事
  - CCTV系関連工事

#### 事業内容・今後の展望

社会インフラにおける電気・通信設備の新設・撤去からリニューアル、点検に至るまでをワンストップでサポートしています。

病院・大学・オフィスビルなどの公共施設や文部科学省・防衛省の電気・通信設備工事、高速道路の交通システム、空港における通信・防災・制御・監視・表示システム、河川・ダムにおける遠隔制御・監視・計測システムの設置工事など、これまでに培った豊富な実績と技術力で社会の変化に対応しています。

今後、5Gなどの最新技術の導入に伴う公共投資の他に、経年劣化しつつある社会インフラ設備の更新・維持管理や最新システムの新規構築などが増加すると予想されます。これらの領域に積極的に事業を展開し、スマートコミュニティの実現に寄与していきます。

#### 実績

近年の大きな実績としては、空港の一般電気通信設備などの建物付帯設備・旅客・貨物ビル防災システムの大規模更新工事のほか、無人サービス化に向けてのチェックインカウンターやランプコントロールタワーの大型リニューアル工事、セキュリティ強化のための360度巡回型カメラの設置工事を行っています。

また、中央高速道路のETC・CCTV設備導入のための道路交通システム工事も行っており、社会のインフラ整備に貢献しています。

お客様のニーズに最高の形で応えられるよう、大規模インフラから地域施設まで、企業理念にある「豊かな生活を支える社会基盤づくり」をチーム一丸となって進めています。





主な事業領域

- 太陽光発電所
- 小形風力発電所
- 大型風力発電所用風況観測タワー  
(提案、設計、施工、メンテナンス等)

事業内容・今後の展望

近年、環境への配慮は欠かせないものとなっている中で、サンコムでは環境部門をいち早く立ち上げ、太陽光発電や小形風力発電の提案・設計から開発、保守までをワンストップで提供しています。

主要事業の一つである風況観測タワーの建設では、通信設備の鉄塔建設で培った社内のリソースを最大限に活用することで、多くのお客様からのさまざまなニーズに対して柔軟にお応えしています。

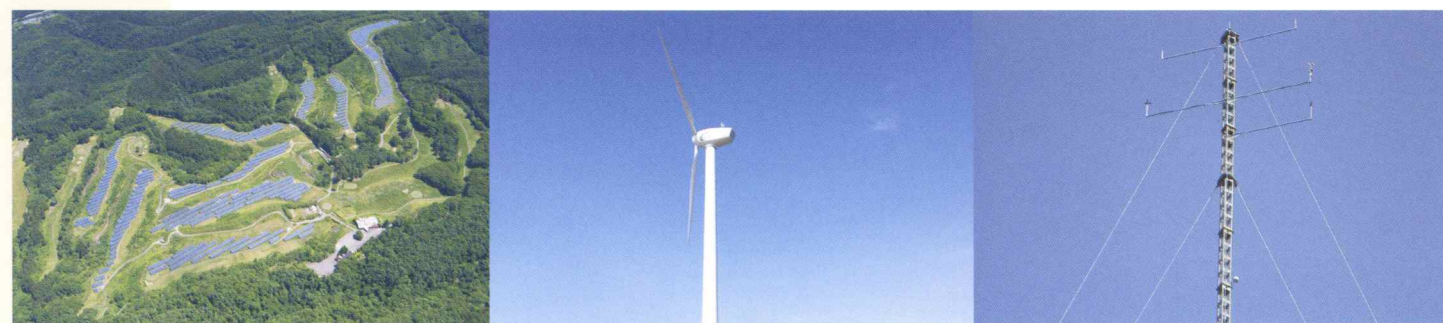
今後は大型風力発電への新規参入と、災害時における被災地での電気供給に向けて太陽光、風力、蓄電池を組み合わせた自家消費型自立運転エネルギー供給システムなどの提案を行い、環境技術を通じて地域への社会貢献をしていきます。

実績

新しい考え方と既存の自然エネルギー関連企業にはないアイデア、そして細かな分析によるコストカットの成功により、多くのお客様から信頼を得てきました。

風況観測タワーは4年間で70基を日本全国に建設。また、デンマークSWP社製の小形風車を2年間で80基を販売・設置し、設置済みの風車のメンテナンスも継続して行っています。

太陽光発電においては、メガワットクラスの屋根上や野建て高圧案件を得意としており、造成を必要としない不陸対応、東西配置を含めた過積載設計など、狭い場所でもより多くの発電量を確保し、事業性をあげることで、お客様のニーズに沿ったサービスを提供しています。



04

海外事業

INTERNATIONAL OPERATIONS



コムシスグループ唯一の海外事業部として  
世界の通信インフラを守ります

主な事業領域

- 国際海底光ケーブルネットワーク  
(海底ケーブル陸揚げ局工事等)
- 光伝送ケーブルネットワーク
- マイクロ波通信システム
- プラント通信設備およびセキュリティシステム  
(鉄道、空港、港湾、発電所等)

事業内容・今後の展望

サンコムでは50年以上に渡って海外での工事を請け負っており、通信・電気設備分野におけるシステム設計、機器・工事材料の調達、工事設計・施工や保守までフルターンキーでプロジェクトを遂行しています。

1986年にコムシスグループ唯一の海外拠点であるジャカルタ支店を開設。通信・電気設備工事に加えて、日本での環境ビジネスの経験を活かし、太陽光発電などの再生可能エネルギービジネスの拡大が見込まれている東南アジアにおいて、現地の電力事情の改善に貢献しています。

今後は、政府開発援助(ODA)案件にも積極的に取り組み、東南アジアを中心とした開発途上国の経済発展に寄与していきます。

実績

東南アジア各国における海底ケーブル陸揚局工事のほか、ODA案件では、バングラディッシュ空港の航空保安設備整備工事、フィジー、パヌアツ、ペルーなどで潮位計・地震計といった防災設備整備工事、さらには東ティモールでの太陽光発電設備工事など、過去10年の間に20カ国を超える国々で工事を行ってきました。

特に、ジャカルタ支店を設置しているインドネシアにおいては、マイクロ通信全国網構築工事や海岸局無線システム構築工事を行っています。また、タンジュン・ジャティ火力発電所の大型工事では、電話や放送などの通信から監視カメラなどのセキュリティに関するCCTVシステムの工事を行っており、開発途上国での通信インフラ設備を充実させています。



## 安心・安全の追求

### 安全大会の実施

「安全は経営のすべてに優先する」という意識の下、安全大会を開催しています。社員に加え、重要なビジネスパートナーである協力会社の皆さまも参加し、各事業部代表による安全決意表明を行うほか、安全品質向上に向けた改善の取り組み発表、人身事故防止に向けた危険体感デモなどを通じ、労働安全への意識を高めています。



### 安全研修の実施

事故防止の徹底を目的として定期的に安全研修を実施しており、協力会社の皆さまも参加しています。現場で作業するにあたり、危険予知など事故の未然防止に効果的なテーマを選定し、効果が期待できる体験型の研修や地域特性に応じた研修などを実施しています。作業員全員が「絶対に事故を起こさない」という強い意識を持ち、安全施工を完遂すべく、日々努めています。

### 電設系体感教育施設を利用した研修

サンコムでは、西関東TS(テクノステーション)敷地内に体感教育施設を設けており、屋外キュービクルや電灯・動力盤・警報盤・弱電盤・自動火災報設備の受信機などを設置し、躯体工事(コンクリートの床、壁の中の工事)や内装工事で必要な電気設備工事環境を再現しています。「触って、動かして」を体感することにより、実践に限りなく近い技術研修ができます。



## 品質向上と環境への配慮

### サンコム式カイゼン活動

改善活動成果を共有し他部門への展開を図ることを目的に、サンコム式カイゼン発表会を開催し、業務改善効果を上げています。優秀な改善活動を行ったチームを表彰することで、取り組みに対するモチベーション向上とさらなる改善活動の奨励を実施しています。社員一人ひとりが自らの業務を見直すことによって安全文化・意識の定着や業務の効率化・生産性の向上を図っています。

### スマートフォンやタブレット端末を活用した作業工程の管理(SunMOS)

NCC工事(New Common Carrierの通信建設工事)の効率性、安全性および品質の向上を図るために、スマートフォンやタブレット端末を活用した「施工ITプラットフォーム・SunMOS(サンモス)」を構築し運用しています。現場の作業員が、タブレット端末上のワークフローに沿って作業を進めていくと、それが本社のシステムにも連動し、作業管理者が遠隔地にいながらでも、リアルタイムで作業管理者が作業の点検・承認ができる仕組みです。



### 地域の美化に関する取り組み

サンコム本社では、月に2回本社ビル周辺の朝清掃を実施しています。また北陸支店では、石川県金沢市内の犀川河川敷にて毎年2回、地元のボランティア団体(犀川河川愛護会様)と協力して犀川河川敷の清掃活動を行っています。継続して清掃活動を実施することで、地域貢献と環境保全に努めています。

## 人財

### 研修の実施

サンコムでは、提供サービスの品質・安全の向上や、社内業務における効率化を目的として各種研修を実施しています。

技術研修	階層別研修	リスク管理
・光ファイバケーブル関連研修	・新規採用者基礎研修	・情報セキュリティ研修
・主任技術者研修	・新規採用社員フォローアップ研修(1,3年目)	・コンプライアンス
・コンストラクションマネージャ研修	・中堅社員研修	
・IT研修	・新任管理職・評価者研修	



### 作業スキルの向上に伴う表彰実績

国土交通省は、建設現場において工事施工に直接従事し、優秀な技能・技術を有する建設技能者を「優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)」として顕彰を行っています。サンコムはこれまでに、建設マスター・ジュニアマスター合わせて12名が顕彰者に選ばれています。これにより技術者のモチベーションが高まり、サンコム全体の技術力向上につながっています。

### ストレスチェックの実施

「労働安全衛生法」に基づく「心理的な負担の程度を把握するための検査など(ストレスチェック)」を実施しています。高ストレス者に対しては、当社指定の産業医によるカウンセリングや外部Webシステムを活用したセルフチェックを実施し、社員のストレスの程度を社員自身に気づかせることを促しています。こうした取り組みを通じて、引き続き働きやすい職場づくりを進め、社員の精神的な不調の未然防止(一次予防)に努めていきます。



## 事業を通じた社会貢献



### 自然災害への取り組み

経営理念に掲げる「豊かな生活を支える社会基盤づくり」の実践として、災害時における通信インフラの迅速な復旧に努めています。各地で発生した災害に、いち早く対応し通信サービスの早期復旧に貢献することで、通信キャリア様、電力会社様より多数の感謝状もいただいています。また、被災された地域の復興を願って募金活動を行い、マッチングギフト(会社による増額負担)と合わせて日本赤十字社などに寄付をしています。

### 認知症サポーター養成講座を開催

工事会社であるサンコムは、現場などで地域の方と接する機会が多くあります。現場や外出先で困っている認知症の方を見かけたら、やさしく声をかけ手助けできるよう、「認知症サポーター養成講座」を全社で開催し、認知症サポーターを積極的に養成しています。養成講座修了者には認知症サポーターの証「オレンジリング」が授与されます。



### 阿波おどり、演芸まつりへの参加

毎年8月に開催される「東京高円寺阿波おどり」に、サンコム社員とその家族が参加しています。1日目は踊りに、2日目は大会運営のボランティアに参加し、会場の清掃活動を行っています。また、毎年2月に行われる「高円寺演芸まつり」に協賛しており、「サンコム寄席」と題して落語家や講師などを招いて演芸大会を開催しています。



サンコムでは女性社員が活躍できる環境づくりに取り組んでいます。

「くるみん」を取得しています

2019年7月、「次世代育成支援対策推進法」に基づくサンコムの育児支援制度が評価され、厚生労働省から子育てサポート企業として『くるみん』2つ星の認定を受けました。2011年に引き続き、二度目の認定となりました。



〈サンコムの評価点〉



「えるぼし」を取得しています

2019年5月、女性活躍推進法に基づく取り組みが優良な企業として、厚生労働大臣から『えるぼし』の認定を受けました。今回は、下記4つの項目を満たし、2段階目を取得しました。

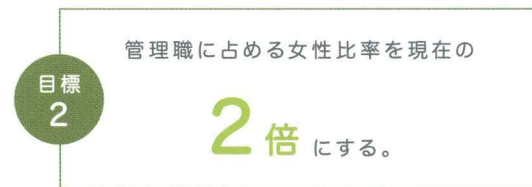


〈サンコムの評価点〉



女性活躍推進法に基づく行動計画

サンコムでは、「女性活躍推進法」に基づいて課題に対する目標を設定し、取り組み内容と実施期間を定めています。2019年4月1日～2022年3月31日までの3年間で、採用人数に占める女性割合、管理職における女性比率の増加のための数値目標を設定し、取り組みを行っています。



働き方改革・女性活躍推進PT

サンコムでは2016年に「すべての社員がいきいきと働ける会社」を目指し「女性活躍推進PT」を発足しました。

2017年には「働き方改革・女性活躍推進PT」と名称を変更し活動を進めています。現在は、第3期メンバーが「働き方改革」「女性活躍推進」のワーキンググループ(WG)に分かれ、社員アンケートなどに基づいて目標を定め、成果発表会に向けて取り組んでいます。



〈これまでの活動内容〉

第1期PT 活動テーマ	意識改革、キャリアデザイン、柔軟な働き方、業務効率化
第2期PT 活動テーマ	第1期活動内容のブラッシュアップ
第3期PT 活動テーマ	全社員が柔軟に働けるような働き方を整える 性別の区別なく誰もが働きやすい環境を整える



各種資格の保有者数

資格者	人数
1級電気工事施工管理技士	114
2級電気工事施工管理技士	42
第1種電気工事士	58
第2種電気工事士	247
第3種電気主任技術者	6
1級土木施工管理技士	26
2級土木施工管理技士	16
1級管工事施工管理技士	2
2級管工事施工管理技士	3
1級建築施工管理技士	1
2級建築施工管理技士	1
第1級陸上無線技術士	10
第2級陸上無線技術士	3
第1級陸上特殊無線技士	291
電気通信主任技術者(伝送・交換)	29
電気通信主任技術者(線路)	20
消防設備士(甲種)	38
消防設備士(乙種)	14
建設業経理士1級	5
建設業経理士2級	31

(2020年3月31日現在)

資格者	人数
監理技術者	108
電信	90
電気	15
土木	15
鋼構	15
塗装	15
舗装	15
Microsoft	61
MCP、MOS	7
Cisco	1
CCNP	15
CCDP	1
CCNA	1
Oracle	3
GOLD	12
SILVER	27
Linux	2
LPIC-2	6
LPIC-1	1
sun	2
SCNA	6
SCSA	1
Java	1
SJC-P	1
Juniper	1
JNCIA	1

品質マネジメントシステム審査登録

適用規格番号	ISO 9001:2015/JIS Q 9001:2015
登録番号	BSIグループジャパン株式会社 QJ 01308
適用事業所名	本社の一部及び各支店

労働安全衛生マネジメントシステム審査登録

適用規格番号	ISO 45001:2018
登録番号	BSIグループジャパン株式会社 OHS 93684
適用事業所名	本社の一部及び各支店

環境マネジメントシステム審査登録

適用規格番号	ISO 14001:2015/JIS Q 14001:2015
登録番号	BSIグループジャパン株式会社 EJ 01341
適用事業所名	本社及び各支店

情報セキュリティマネジメントシステム審査登録

適用規格番号	ISO/IEC 27001:2013/JIS Q 27001:2014
登録番号	BSIグループジャパン株式会社 IS 94641
適用事業所名	本社及び各支店

# 会社概要

# Corporate Data

社名	サンワコムシステムエンジニアリング株式会社
英社名	SANWA COMSYS Engineering Corporation
所在地	本社:〒166-0003 東京都杉並区高円寺南2-12-3 電話:(03)6365-3111
ホームページ	https://www.sancom-eng.co.jp
創業	1947年8月1日
設立	1947年9月12日
資本金	36億2,471万円
株主	コムシスホールディングス株式会社(100%)
売上高	584億円(連結) / 504億円(単独) 2020年3月期
経常利益	56億円(連結) / 51億円(単独) 2020年3月期
従業員数	1,602名(連結) / 823名(単独) 2020年3月末現在



建設業許可	電気工事業	国土交通大臣許可(特-29)第1483号
	電気通信工事業	
	土木工事業	
	とび・土工工事業	
	鋼構造物工事業	
	舗装工事業	
	塗装工事業	
	解体工事業	国土交通大臣許可(特-2)第1483号
	消防施設工事業	国土交通大臣許可(般-29)第1483号
	一般建設業	管工事業

電気工事業者届	通商産業大臣届出 第4646号
測量業者登録	国土交通大臣登録 第(11)-6627号
一級建築士事務所	東京都知事登録 第60471号
労働者派遣番号	派 13-309664
登録検査等事業者登録	関検第0016号

## 役員紹介

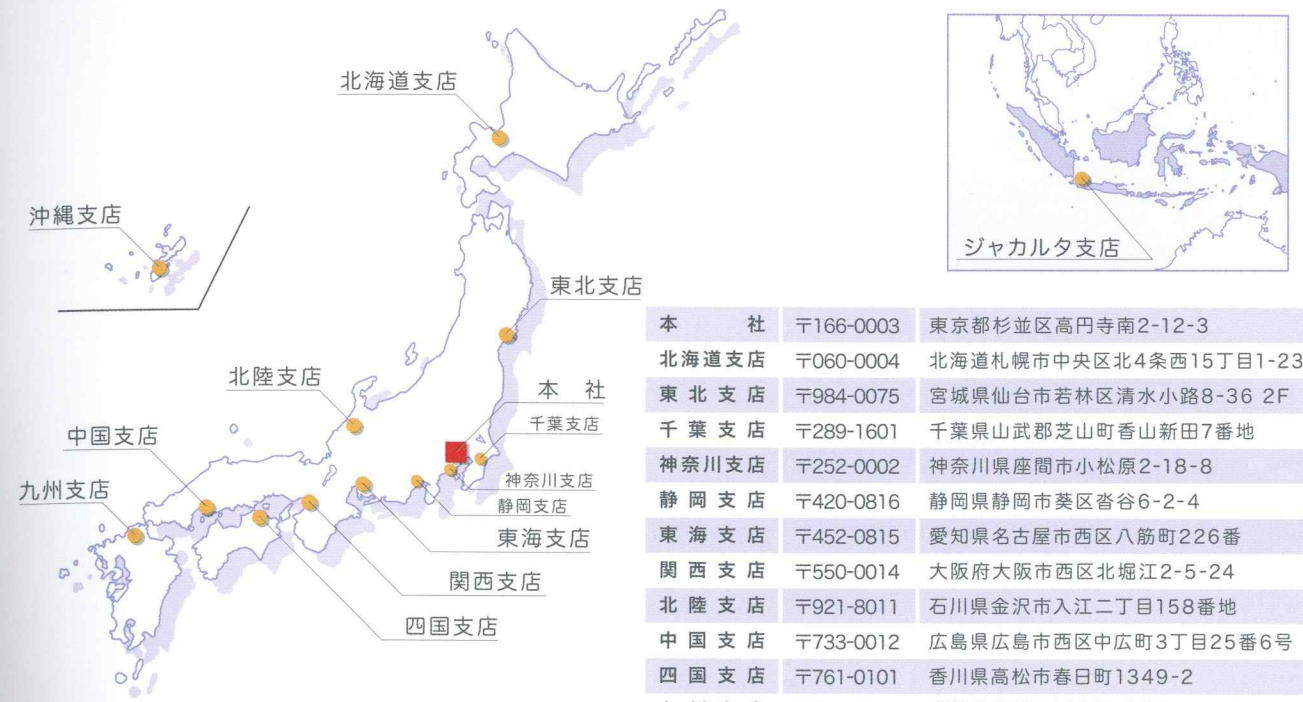
代表取締役社長	坂本 繁実
代表取締役副社長	佐藤 謙一
専務取締役	打出 邦彦
取締役	平山 正秀
取締役	高木 成暢
取締役	和田 朗
取締役	尾崎 秀彦
取締役	大村 佳久
監査役	津田 博久
執行役員	森 智嗣
執行役員	宮井 直樹
執行役員	鈴木 明弘
執行役員	田中 寛
執行役員	鳥井原 均
執行役員	永野 隆浩
執行役員	小松 正裕
執行役員	田中 良
執行役員	鈴木 信男

## 沿革

1947年	9月	三和電気興業株式会社設立登記
1956年	7月	日本電信電話公社 認定業者(総合2級)
1963年	12月	東京証券取引所第二部に上場(資本金100,000千円)
1968年	7月	三和電気興業株式会社と大榮通信工業株式会社(1948年5月創立)とが合併、三和大榮電気興業株式会社(資本金287,500千円)と商号変更
	8月	日本電信電話公社 認定業者(1級)
1996年	4月	株式会社三和エレクトリックに商号変更
1997年	9月	東京証券取引所第一部に指定
2003年	9月	当社、日本コムシス株式会社および旧東日本システム建設株式会社の3社共同の株式移転による純粋持株会社『コムシスホールディングス株式会社』設立 コムシスホールディングス株式会社は、東京証券取引所市場第一部および大阪証券取引所市場第一部に上場、当社等は上場廃止
2005年	4月	コムシスホールディングス傘下の事業再編により、日本コムシス株式会社のキャリア系事業と旧株式会社三和エレクトリックの事業を統合し、商号をサンワコムシステムエンジニアリング株式会社に変更
2007年	8月	本社を杉並区高円寺南へ移転
2016年	4月	新経営理念、行動指針を策定

# 事業拠点

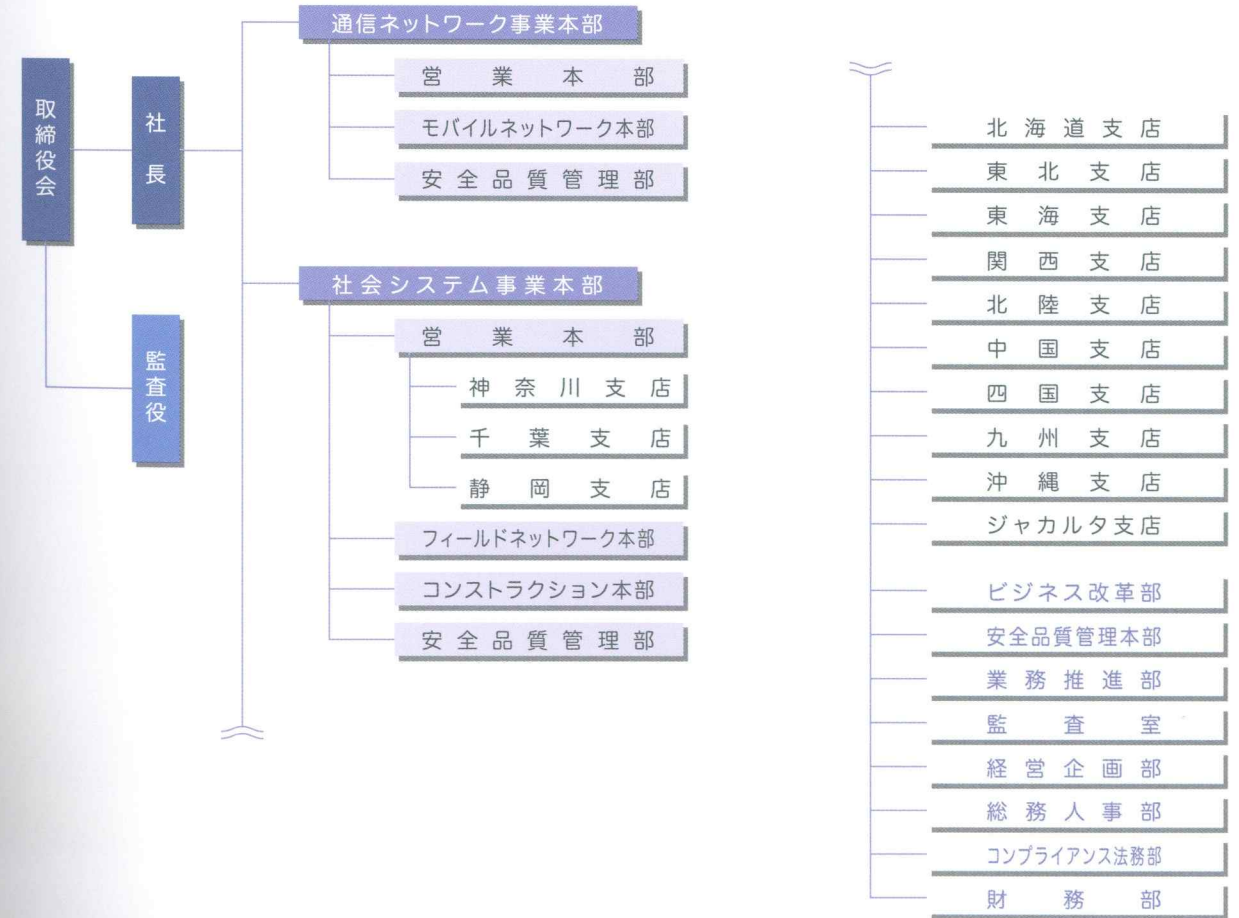
# Business Locations



本社	〒166-0003	東京都杉並区高円寺南2-12-3	TEL.03-6365-3111
北海道支店	〒060-0004	北海道札幌市中央区北4条西15丁目1-23	TEL.011-622-4800
東北支店	〒984-0075	宮城県仙台市若林区清水小路8-36 2F	TEL.022-215-4401
千葉支店	〒289-1601	千葉県山武郡芝山町香山新田7番地	TEL.0479-78-8085
神奈川支店	〒252-0002	神奈川県座間市小松原2-18-8	TEL.046-240-8821
静岡支店	〒420-0816	静岡県静岡市葵区沓谷6-2-4	TEL.054-208-3411
東海支店	〒452-0815	愛知県名古屋市区八筋町226番	TEL.052-325-6061
関西支店	〒550-0014	大阪府大阪市西区北堀江2-5-24	TEL.06-6533-1261
北陸支店	〒921-8011	石川県金沢市入江二丁目158番地	TEL.076-291-3561
中国支店	〒733-0012	広島県広島市西区中広町3丁目25番6号	TEL.082-297-8866
四国支店	〒761-0101	香川県高松市春日町1349-2	TEL.087-844-8880
九州支店	〒812-0044	福岡県福岡市博多区千代2-15-12	TEL.092-409-8270
沖縄支店	〒902-0061	沖縄県那覇市古島2丁目6番地5 古島テラス2F	TEL.098-885-5203
ジャカルタ支店		Jl. Kemang Timur Raya No.72A RT.011/RW.03, Kel.Bangka Kec.Mampang Prapatan, Jakarta Selatan 12730 Indonesia	TEL.+62-21-7179-6973

# 組織図

# Organizational Structure





サンワコムシスエンジニアリング株式会社

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 2-12-3

TEL:03-636543111

<https://www.sancom-eng.co.jp>

